

外来1・2階 看護師の役割

北処置室

- ①各診療科受付予診(トリアージ)
- ②処置(輸血、点滴、安静採血、注射、血糖測定)
- ③診療・処置介助(骨髄穿刺、腰椎穿刺+髄腔内注射、腹腔穿刺、瀉血、創傷処置)
- ④検査説明(内視鏡検査・エコー・CTなど)
- ⑤フットケア
- ⑥在宅療養指導
(自己注射、血糖測定、その他生活指導)

南処置室

- ①各診療科受付予診(トリアージ)
- ②処置(注射、採血、点滴、吸入、血圧脈波検査、心電図)
- ③診療・処置介助(腰椎穿刺、胸腔穿刺、除細動、血液ガス採取、口腔外科処置、創傷処置、心臓カテーテル出棟)
- ④説明(エコー、CT、術前オリエンテーションなど)
- ⑥在宅療養指導
(自己注射、てんかん、心不全患者、パーキンソン病患者、在宅酸素、その他生活指導)

外来1・2階

血液内科

消化器科

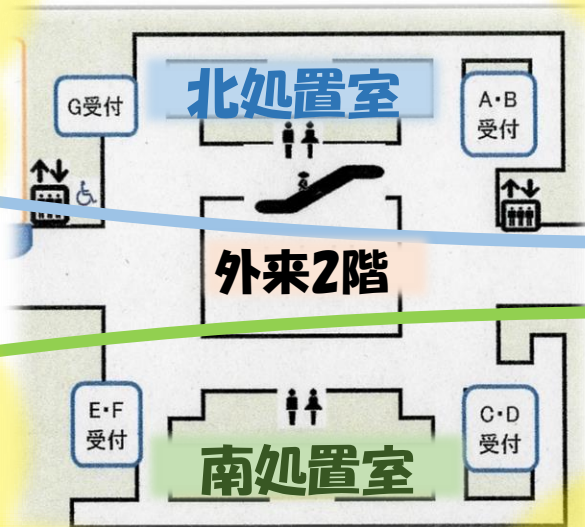
生物学的製剤点滴室

腎臓科

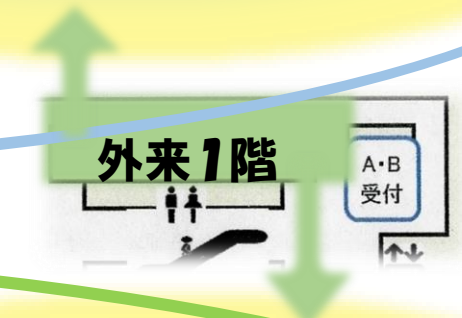
免疫・
膠原病科

(下記診療科診察後点滴実施)
血液内科・消化器科・免疫膠原病科・
リウマチセンター

高齢者
医療ユニット



糖尿病内分泌栄養科



歯科・
口腔外科

呼吸器内科

がん診療部
(放射線治療科・脳腫瘍・前立腺)

脳神経外科

循環器内科

脳神経内科

受付予診係（トリアージ）

ラウンド

問診票で
チェック

当日受診の方

当日受診の方
来院理由

患者さんからお話を聞き、
適切にトリアージします。

熱っぽくて…

今日はどうされましたか？

具合が悪そうにしている患者さんはいないかな？

緊急性のある場合や、
隔離が必要かどうか
医師の指示を確認します。



様々な処置・検査

北処置室



輸血



点滴



採血・安静採血

南処置室



血圧脈波検査・心電図



サクソンテスト
(唾液量検査)



血糖測定



皮下・筋肉注射



ネブライザー吸入

様々な処置介助

北処置室



骨髓穿刺



しゃけつ
瀉血

南処置室



胸腔穿刺



歯科口腔外科手術
(抜歯や生検など)



除細動



腰椎穿刺

自己注射指導

北処置室



成長ホルモン製剤など



インスリン製剤

難しく
考えなくても
大丈夫!



思ったより簡単ですね。

南処置室



喘息治療薬



喘息の患者さんに
皮下注射・管理の指導をしています!

指導 (南処置室)

てんかん指導



よろしく～

依頼が来たら
情報収集し、
指導内容を考えます。

てんかんは
誰がなっても
おかしくない
ありふれた病気です。
患者さんの
生活背景から、
必要な指導内容を
個別に考えます。
また、患者さんや
ご家族の不安に
寄り添ったケアを
します。



てんかんのパンフレット類



これから先の
ことが心配。

今後も
わからないことがあれば、
いつでも聞いてください。

HOT(在宅酸素療法)

患者さん

家で具体的に
気をつけなけ
ればいけない
ことはなんだ
ろう？

一人ひとりのライフスタイルに
合わせた指導を行い、生活上で
困っていることが無いか確認します。
また、業者さんと連携してその人の
療養生活がよりよいものになるよう
に援助します。

いつでも
相談どうぞ！

業者さん

お家での使用状況は
どんな感じですか？

体調はどうですか？
酸素はつけられていますか？
日常生活で困っていることは
ないですか？

看護師

酸素ボンベ交換も行っています。



糖尿病関連の看護外来・指導 (北処置室)

フットケア外来

※対象は糖尿病の患者さんです。



糖尿病の患者さんは、一度キズを作ってしまうと治りにくいです。

在宅でもフットケアができるように、方法をお伝えします。足病変の早期発見に努めます。



こんな事にならないように...

自分でも、足を見るようになりました。

糖尿病透析予防指導

糖尿病で腎機能が悪くなった患者さんがそれ以上悪化する事を予防する為に、医師・看護師・栄養士が協働して指導に当たります。

分かりました。家でやってみます！



医師

栄養士

看護師



病棟－外来－地域との連携

病棟－外来－地域で患者さんが
シームレスに継続した看護を受けられ
るように、病棟看護師や訪問看護師
などと情報共有を行っています。

病棟

情報共有

外来

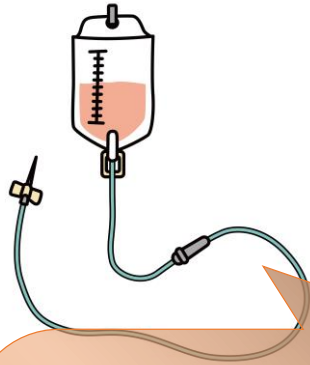
情報共有

地域



生物学的製剤点滴室

外来1階



点滴している
生物学的製剤には…

レミケード

オレンシア

アクテムラ

ベンリスタ

タイサブリ

があります。



来られる患者さんは…

関節リウマチ
潰瘍性大腸炎
クローン病
キャスルマン病
成人スチル病
尋常性乾癬
サルコイドーシス
多発性硬化症

…などの難病の方々です。



職員紹介

- 外来 一二代（がいらい ひふよ）さん
- 入職14年目、血液内科病棟、肝胆膵・移植外科病棟勤務後、2年間の育児休業を経て2023年5月より外来1・2階に配属となる
- 外来2階北処置室または外来1階生物学的製剤点滴室で育児短時間勤務で勤務している

外来1階
生物学的製剤点滴室



外来2階
北処置室



外来さんのある1日

- 06:15 ● 起床、家事（朝食づくり、洗濯、身支度など）
- 07:00 ● 子供を起こし、朝食・支度
- 08:10 ● 子供を保育園に送り、出勤
- 09:00 ● 業務開始（本日の処置スケジュールを確認し処置室に来られた患者さんの対応などを行う）
- 15:30 ● 退勤
- 17:00 ● 夕食作り、保育園にお迎え、夕食、入浴、子供の世話など
- 20:30 ● 子供の寝かしつけ
- 21:00 ● 残った家事
翌日の保育園の準備
- 22:00 ● 就寝

仕事をするうえで大切にしていること

初めての外来業務であり、病棟との違いになれない部分ではありますが、患者さんに安心・安全に治療を受けていただけるよう、心掛けています。

特に、血液内科の患者さんに対しては、病棟での経験を活かして、今困っていることや辛いことなどに耳を傾けて対応するようにしています。

自分一人では解決できないようなことに関しては、多くの経験豊富な先輩方に相談したりして、日々の業務を行うようにしています。

メッセージ

私は2年間の育児休暇を経て仕事復帰しました。ブランクが長かったため、現場に戻れるかどうか最初は不安がありました。部署の先輩方の優しく丁寧な指導のおかげで、充実した日々を送ることができています。

他県在住で通勤に時間がかかるため、育児短時間勤務という勤務体制で勤務させていただいています。現在の勤務体制のおかげで、子供との時間も作ることができています。

子育てと両立しながら働いていける環境も整っていますので、ぜひ新しい方にもどんどん来ていただければと思います。